

施策を構成する事業評価

No.	36	担当課	消防総務課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)									
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度		
事業概要												
取組内容・結果等(D)												
課題・問題点等(C)												
今後の方向性(A)												

3. 基本事業

事業名(中分類)	緊急車両整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109800(公用車管理費)
事業概要	年間計画に基づき、消防自動車等14台の車検及び法定点検に係る事務処理を実施するとともに、老朽化した部品の交換及び緊急修繕における、適正な事務処理を行い、緊急車両の維持管理を行う。		
取組内容・結果等(D)	消防自動車等の法定点検を実施するとともに、車両のバッテリー交換、タイヤ交換、老朽化した部品の交換及び修繕を実施し、適正に車両を維持管理した。		
課題・問題点等(C)	常時、災害発生時に対応できるよう、緊急車両等の継続的な整備及び維持管理が必要である。		
今後の方向性(A)	引き続き適切な維持管理に努める。		

事業名(中分類)	消防施設の維持管理・運営事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109002(常備消防通信管理費) 9.1.1.109034(常備消防施設管理事業費) 9.1.1.109850(常備消防総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎や浄化槽等の総合管理と、衛生管理などを継続的に行い、施設等の長寿命化を図るとともに、職員的环境衛生に努める。</li> <li>中東遠消防指令センター施設の維持管理や運営について検討を行い、円滑な運営に取り組む。</li> <li>消防本部4課全体の予算管理を適正に行い、各種の災害活動に対応できるよう、円滑な運営管理を図る。</li> <li>消防職員委員会及び職員衛生委員会事業を推進し、職員が活動しやすい環境整備に取り組む。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎等の設備保守管理、環境衛生管理、日常・定期清掃、機器運転監視等の総合管理業務を適正に行うとともに、消防庁舎敷地内の草刈り、浄化槽の点検及び清掃を実施した。</li> <li>通信指令事務協議会及び幹事会において、機器等の整備や派遣職員の教育、負担金等について検討し、円滑な消防指令センターの運営に向けて取組んだ。</li> <li>備品、消耗品等の整備及び負担金、補助金の事務処理や光熱水費の予算管理等を適正に行った。</li> <li>消防職員委員会及び職員衛生委員会を開催し、職員の意見に対して検討・対応し、活動環境及び衛生管理の改善に繋がった。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防庁舎運用開始から5年が経過し、修繕が必要な箇所が増えてきているため、計画的な修繕が必要である。</li> <li>消防指令センターの全更新が数年後に予定されていることから、今後の運営に係る検討が必要とされる。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切に庁舎を管理するため、修繕計画を作成し、施設の長寿命化を図る。</li> <li>消防指令センターの全更新に係る運営負担金は莫大な予算となるため、通信指令事務協議会及び幹事会での検討や、財政課と綿密な調整を図る。</li> </ul>		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

事業名(中分類)	消防資機材等の維持管理・整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109031(救急活動事業費) 9.1.1.109032(消防救助活動事業費) 9.1.1.109850(常備消防総務費) 9.1.3.109014(消防自動車等整備事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防活動に必要な消防・救助、救急の使用資器材を整備するとともに、保守点検及び日常の使用点検を実施し、災害時に支障がないよう維持管理に努める。</li> <li>・消防活動に不可欠な活動服等の個人装備の整備及び維持管理に努め、災害活動における職員の安全を確保する。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災活動に必要な消防用ホース、空気呼吸器及び空気ポンプの更新を行うとともに、老朽化し安全性を欠く救助ロープやカラビナ等の整備を行った。</li> <li>・クレーン、空気呼吸器、空気ポンプ、ガス検知器、高圧充填設備、自動式人工呼吸器、観察モニター、ストレッチャー、パルスオキシメーターの保守点検を実施した。</li> <li>・救急活動に使用する特定行為資機材や心電図資機材、感染防止資機材、消毒用品等の整備及び普通救命講習に使用する訓練用入形の更新を行った。</li> <li>・貸与年数に基づき個人貸与品の更新を行うとともに、10年以上経過し、耐熱性・防水性を欠く防火衣の更新を、使用頻度の高い職員を対象に行い、職員の安全確保に努めた。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	救急出動件数が増加していることから、救急事故に適切に対応するための、資機材整備を充実していく必要があるが、予算確保が厳しい現状である。		
今後の方向性(A)	必要な資器材の精査・優先順位の検討を行い、適切な整備を行っていく。		

施策を構成する事業評価

No.	36	担当課	消防総務課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	2	消防技術の向上を目指します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	派遣教育・各種研修・実習による職員の技術向上	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109850(常備消防総務費)
事業概要	年間教育計画に基づき、県消防学校への教育や救急救命士の資格取得及び病院実習の手続き、負担金等の事務処理を適正に行い、職員の育成に努める。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県消防学校で行われる初任科、中級幹部科、救急科、警防科、火災調査科、予防査察科に入校する計7名の入校手続き及び負担金等の事務処理を適正に実施した。</li> <li>・救急救命士養成の研修、国家試験、就業前病院実習等の手続き及び負担金等の事務処理を適正に実施した。</li> <li>・救急救命士のビデオ喉頭鏡実習(2名)、気管挿管実習(1名)、再教育病院実習(14名)の手続き及び負担金等の事務処理を適正に実施した。</li> <li>・消防・救助活動に必要なクレーン及び玉掛け講習(2名)、ウインチ技能講習(2名)の受講に伴う手続き及び負担金等の事務処理を適正に実施した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の知識・技術の習得と将来の幹部職員育成のため、更に教育派遣が必要である。</li> <li>・消防業務を遂行する上で、救急救命士資格者の育成と活動年数の検討が必要である。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	教育派遣計画及び消防業務遂行のための教育計画を作成する。		

施策を構成する事業評価

No.	36	担当課	消防総務課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	3	消防団の防災力の維持・向上を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	消防団員活動の環境整備推進事業		予算事業番号 (予算事業名)	9.1.2.109008(消防施設等管理費) 9.1.2.109801(消防自動車等管理費) 9.1.3.10928(消防団蔵置所建設事業費)									
事業指標	耐震基準を満たさない蔵置所の建替え整備	現状値 (H27(2015))	実績値									目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	5棟	80%	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の活動拠点となる消防団蔵置所のうち、耐震基準を満たさない蔵置所の建替え整備を計画的に進めるとともに、経年劣化等により、修繕が必要な蔵置所については、計画的に修繕を行い蔵置所の長寿命化を図る。</li> <li>整備計画に基づき、消防団が使用する消防ポンプ自動車の更新及び車検等の法定整備を計画的に行い、消防団車両の適正な維持管理に努める。</li> </ul>												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団蔵置所の建設事業として、横地分団蔵置所の建設予定地の地質調査及び実施設計を実施した。</li> <li>消防団蔵置所の修繕を行い、適正に維持管理を行った。</li> <li>消防団車両18台の法定点検を実施するとともに、車両のバッテリー交換、タイヤ交換、老朽化した部品の交換及び修繕を実施し、適正な状態に保った。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新を計画している以外の蔵置所については、今後の老朽化対策を検討する必要がある。</li> <li>消防団ポンプ車の運用年数を検討する必要がある。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団蔵置所の整備方針を作成する。</li> <li>消防団ポンプ車の更新整備計画を作成する。</li> <li>横地分団蔵置所の建設事業を完了する。</li> </ul>												

3. 基本事業

事業名(中分類)	消防団員の活動支援事業		予算事業番号 (予算事業名)	9.1.2.109006(消防団員報酬費) 9.1.2.109007(消防団運営費)									
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防署との合同訓練を実施し、連携強化を図る。</li> <li>県消防学校の各種教育課程に消防団員を派遣し、知識・技術を習得による、防災力の向上を図る。</li> <li>消防団員の身分を保障するため、団員報酬、出勤手当、団員の退職報償金及び公務災害補償、福祉共済への加入など、適正な運用に努める。</li> <li>消防団協力事業所及び消防団応援の店の推進事業に取り組み、消防団が活動しやすい環境、団員が入団しやすい環境整備を図る。</li> </ul>												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防職員による新入団員への教育訓練や機関員講習、消防署との合同訓練を実施し、活動技術や能力向上及び連携強化が図られた。</li> <li>国が行う幹部候補者研修に参加し、消防団幹部の養成を行った。</li> <li>県消防学校の初級幹部科、現場指揮課程及び分団指揮課程、教育訓練指導員研修会等に消防団員を派遣し、必要な知識・技術を習得して、防災力の強化を図った。</li> <li>団員報酬及び出勤・訓練手当の支給、退職報償金や公務災害補償、福祉共済及び各負担金等の事務処理を適正に行った。</li> <li>消防団協力事業所及び消防団応援の店推進事業に取り組み、5事業所を協力事業所に認定するとともに、7店舗が新たに消防団応援の店として加盟した。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員の90%以上が被雇用者であり、消防団活動には事業所の理解が不可欠となるため、更に消防団協力事業所の推進が必要である。</li> <li>消防団員が活動する上で、家族等の理解が不可欠である。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団協力事業所を更に増やしていく。</li> <li>消防団応援の店の推進を図り、家族等へのメリットを検討する。</li> </ul>												

事業名(中分類)	消防団資機材等の維持管理・整備事業		予算事業番号 (予算事業名)	9.1.2.109009(消防団資機材整備費)									
事業概要	消防団の装備基準の改正(平成26年2月)を受けて、救助資機材の整備を行い防災力の強化を図るとともに、個人装備品を整備し団員の安全を確保する。												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンカッター、発電機、投光器等の資機材や老朽化した消防用ホースを計画的に整備をして、防災力の充実強化を図った。</li> <li>救助資機材整備に伴い、全分団を対象に約2か月間、取扱い説明及び操作訓練を実施し、災害時の活動技術を高めた。</li> <li>活動服、ヘルメット、安全靴、耐火・耐切創手袋、防塵メガネ等の個人装備品の整備を進め、団員の安全を確保するとともに、本部員及び女性消防団員の制服等の被服を整備した。</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	救助資機材として、エンジンカッターを未整備の分団へ整備し、大規模災害に備える必要がある。												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度に、新基準活動服を全団員へ整備し、以後入団する団員へは、随時貸与していく。</li> <li>令和2年度に、エンジンカッターの全分団への整備を完了する。</li> </ul>												

施策を構成する事業評価

No.	37	担当課	消防警防課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	緊急車両整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.3.109014(消防自動車等整備事業費)
事業概要	複雑多様化する災害に対応する緊急車両や調査等に使用する車両、及び消防団ポンプ車を更新する。		
取組内容・結果等(D)	運用開始から20年経過し老朽化した大型水槽車を更新し、平成30年12月に配備が完了した。		
課題・問題点等(C)	車両や資機材の整備に関する補助金メニューについては、限られたものしかない。また、近年は車両や資機材の価格も高騰しているため、財源の確保に課題がある。		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助事業の有効活用や、官公庁オークションにて更新後の旧車両売却などで財源確保を図っていく。</li> <li>災害対応のためには、老朽化した車両を更新することは必要であり、積載する資機材も検討し、コストを抑えて用途に合った資機材を選び整備していく。</li> </ul>		

事業名(中分類)	消防施設の維持管理・運営事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109002(常備消防通信管理費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>中東遠消防指令センターにおける、119番の受付や的確な指令、情報収集、伝達を担う重要なシステムを途切れることなく継続的に機能させるため、指令システムの部分的な更新を行う。</li> <li>災害時において重要である消防救急無線機器や防災無線(防災相互波)について、災害活動時の情報伝達、指揮命令が継続的に支障なく確実にこなえるよう、消防救急無線機器の保守及び点検を実施する。</li> </ul>		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高機能指令機器を継続的に機能させるための指令システムを部分更新した。</li> <li>災害現場での情報伝達に欠かせない消防救急無線や防災無線設備の保守点検を実施した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	119番の受付から出動指令を行う指令センターのシステム機器及び、情報を伝達するための消防無線等は、専門知識を有する業者による継続的な点検保守が必要である。また、市内在住の外国人を始め、2019年にはラグビーワールドカップ、2020年にはオリンピック・パラリンピックが開催されることから、外国人からの119番通報が多数見込まれるため、多言語への対応が必要となってくる。		
今後の方向性(A)	継続的な保守点検による指令機器や無線設備の適切な維持管理とともに、三者通訳や救急ボイストラなどの通訳システムを導入し、119番の受付時や現場における多言語へ対応をする。		

事業管理シート(施策)

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	1	消防施設・設備・体制の充実強化を図ります

事業名(中分類)	消防水利整備事業	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.3.109013(市単独消防施設整備事業費) 9.1.3.109044(市単独貯水槽整備事業費)
事業概要	消防力の基盤であり、火災時の重要施設である消防水利の充実強化として、耐震性貯水槽の整備を進めるとともに、災害時の有効使用や平時の安全確保のために、維持管理を行う。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性貯水槽を加茂地内に1基、和田地内に1基の計2基設置し消防水利の強化を図った。</li> <li>経年劣化した防火水槽の金網の張替えを2箇所、鉄蓋等の劣化や第三者に被害を及ぼす可能性のある損傷箇所の修繕を15箇所実施した。また、消火栓についても、劣化や第三者に被害を及ぼす可能性のある損傷箇所の修繕を9箇所し、水道管布設替えに伴う移設を5箇所実施した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性貯水槽の設置場所を確保する。</li> <li>非耐震性防火水槽の耐震化への更新が必要な時期にきている。</li> <li>老朽化が見られる消火栓についても更新していく必要がある。</li> </ul>		
今後の方向性(A)	大規模火災や地震災害時への対応を踏まえた消防水利の整備計画について、検討を行い整備及び設置を図っていく。		

施策を構成する事業評価

No.	37	担当課	消防警防課
-----	----	-----	-------

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	3	消防団の防災力の維持・向上を図ります

2. 重点事業

事業名(中分類)	消防団員活動の環境整備推進事業		予算事業番号 (予算事業名)	109008 (消防施設等管理費)									
事業指標	消防団員数の条例定数に対する比率 条例定数(364人)に対する実人員 実績値は年度当初の団員数	現状値 (H27(2015))	実績値 (人)									目標値 37年度	達成 状況(%)
		319	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	364	86.8%
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災の主力となる消防団員が、活動しやすい環境を整備し長期間の服務従事や、新たに入団していただけるような体制を構築する。</li> <li>・団員の9割以上が企業で雇用されていることから、「消防団協力事業所制度」に協力いただける事業所に認定証を交付し、活動しやすい環境を整備する。</li> <li>・市内店舗に対し「消防団応援の店制度」を説明し、理解を得た店舗では、団員証を提示することで店舗毎にサービスを受けることができ、団員本人に限らず家族でも使用できる店舗もあり、家族が入団を後押しするような体制を整備する。</li> </ul>												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団協力事業所を新たな5事業所に認定し、21事業所となった。</li> <li>・消防団応援の店については、新たに7店舗が加盟したものの、脱退店舗もあり43店舗となった。(平成29年度40店舗)</li> </ul>												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度に向けた入退団の調整では、退団者以上の入団者の確保を目指しているが、団員確保に苦慮している。</li> <li>・団員の雇用先が市外であったり、連絡ができないライン作業等に従事するなど、迅速な災害対応が厳しい雇用形態が増えている。</li> </ul>												
今後の方向性(A)	消防団員確保は最優先課題であるため、消防団の協力事業所や応援の店の充実を図るとともに、自治会長や自治会役員等の助力をいただき、地域にとって必要な団員確保の協力体制を構築する。												

3. 基本事業

事業名(中分類)	なし	予算事業番号 (予算事業名)	
事業概要			
取組内容・結果等(D)			
課題・問題点等(C)			
今後の方向性(A)			

施策を構成する事業評価

No.	38	担当課	消防署
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	4	快適な環境で安心して暮らせるまち【防災・環境・社会資本整備】
政策名	3	消防力を高めるまちづくり
施策名	2	消防技術の向上を目指します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 (H27(2015))	実績値										目標値 37年度	達成 状況(%)
		29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	派遣教育・各種研修・実習による職員の技術向上	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109850(常備消防総務費)
事業概要	職員(消防隊員、救急隊員、救助隊員)の技術及び専門的知識や能力向上のため、消防学校での専科教育、救急救命士を養成するための派遣及び各種研修会や検証会の参加、病院実習を行う。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防学校での初任科教育を始め、救助科・救急科・警防科・幹部科等の専科教育への派遣やクレーン・ウインチ講習による資格取得、救助シンポジウムや火災調査発表会等へ参加した。また、心電図セミナーや菊川病院等で開催された救急事案に対する検証会、救急隊員・看護師研究発表会等への参加及び高度な処置を可能とする救急救命士の病院実習を行い、技術や専門的知識、能力の維持向上に繋がった。</li> <li>救急救命士を養成するため、救急救命士東京研修所に職員を派遣し、新たに1名の職員が救急救命士国家資格を取得した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	複雑多様化、大規模化する火災、救急、救助等の災害現場における高度な活動スキルが求められる。		
今後の方向性(A)	効果的な教育機関への派遣や各種研修会等へ参加し、専門的な知識、能力等の維持向上を図り、現場活動を強化する。		

事業名(中分類)	災害対応訓練等の実施	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109032(消防救助活動事業費)
事業概要	複雑多様化する火災、救急、救助等の各種災害に対応するため、消防隊、救急隊、救助隊、指揮隊による基本訓練や実践訓練等を行い、現場活動技術や能力を高めるとともに、消防団等の関係機関と合同訓練を実施して連携強化し、組織的な活動能力の向上を図る。また、大規模な防火対象物における災害時の活動を強化するため、マニュアル(警防計画書)を作成する。		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防隊、救急隊、救助隊、指揮隊それぞれの小隊訓練(基本訓練やフィードバック等)や様々な事案を想定した各隊連携による部隊訓練(実践訓練)を年間を通して実施した。また、災害想定を付与した署全体訓練及び救助隊による集中的な基本訓練や体力錬成、応用訓練を実施して、組織的な活動技術や能力が養われた。</li> <li>災害現場では関係機関との連携も必要不可欠なため、消防団全分団を始め、菊川警察と1回、災害救助犬静岡と2回、ドクターヘリコプタースタッフと1回、県消防防災航空隊と5回の合同訓練を実施して連携を強化した。</li> <li>市内事業所9箇所の現地調査を行い、災害時の対応マニュアル(警防計画書)を作成するとともに、その他2箇所の事業所において火災防衛訓練を実施した。</li> </ul>		
課題・問題点等(C)	各種災害において、迅速かつ的確に対応するための技術や能力が求められる。		
今後の方向性(A)	様々な災害を想定した実践的な訓練を繰返し実施するとともに、関係機関との連携を強化し、組織的な活動能力、技術の向上に努める。		